

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立生馬小学校

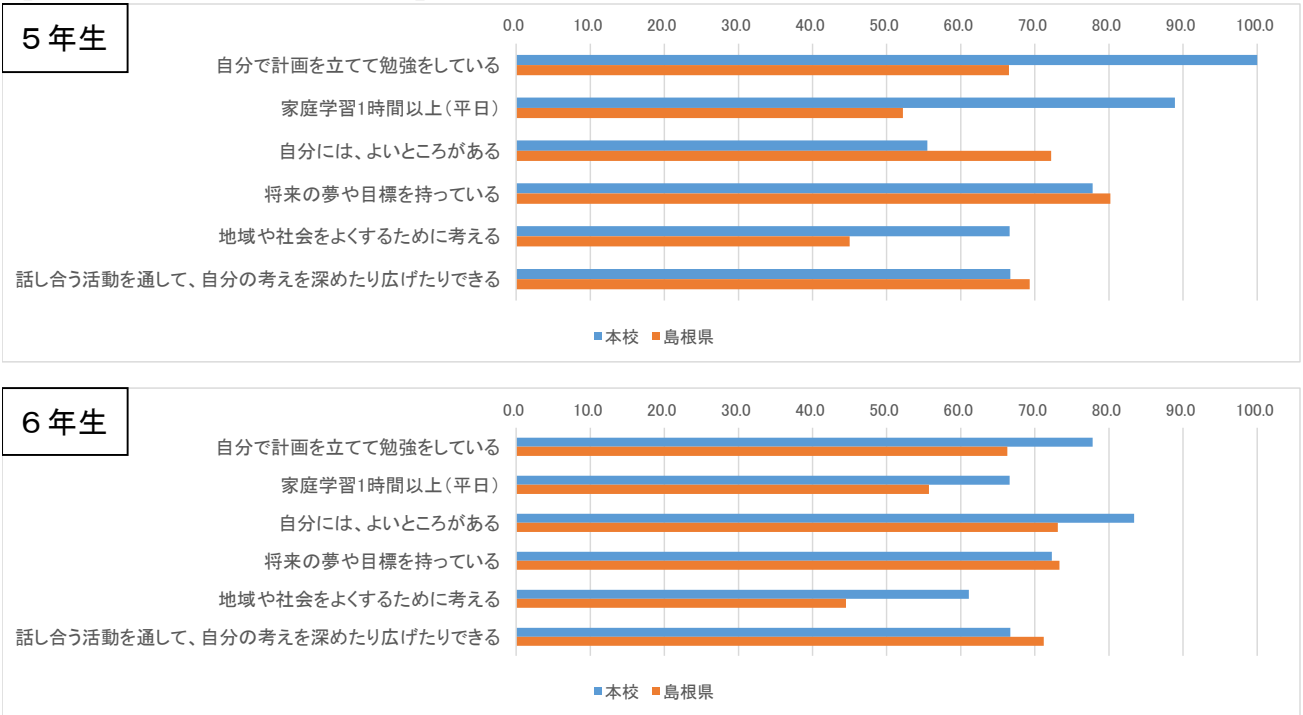
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を簡潔に書く力が、全国平均を大きく上回っている。 ○自分の意見を、理由を明確にして書く力に優れている。 ●話の内容を明確にするための話し方の工夫をとらえる問題の正答率が低い。 ●連用修飾語について理解ができていない。	○話を聞いて、話し方の工夫を聞き取ることができる。 ○選択肢の中から、正しい漢字を選ぶことができる。 ●条件に合わせて、記述する問題の正答率が低い。条件を網羅していない。 ●敬語の使い方の理解が不十分。
算数	○問題の内容としては「平均」、領域では「データの活用」が県平均を上回っている。 ●基礎、活用ともに県平均を下回り、算数の力全般に課題がある。 ●最小公倍数を見つかったり、商を分数で表したり、小数×小数を計算したりといった、基礎的な問題の正答率が悪い。	○文字と式への理解、面積と体積の理解が高い。 ●文章の数値の意味(比較量・基準量)を読み取ることに課題が見られる。 ●2本の数直線図の意味理解に課題が見られる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○勉強に対して前向きな姿勢でいる。 ○家族から認められている、自分の力を伸ばしたいという割合が高い。 ●自己肯定感が低い傾向にある。 ●朝、自分で起きている児童が少ない。	○生活習慣が身に付いている。 ○自己肯定感が高い。 ●地域の行事にあまり参加していない。 ●新聞はあまり読まない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

9

名

6年生

18

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)